

ヴァイオリンの基礎を確認しよう

年 組 氏名

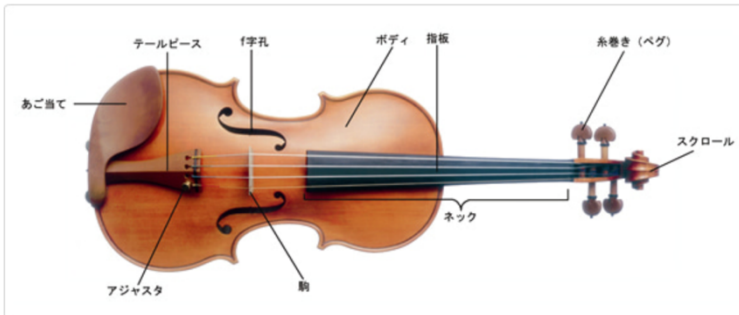
概要

学習の観点
知識

ヴァイオリンまたはバイオリンは弦楽器の一種。ヴァイオリン属の高音楽器である。オーケストラで使われるヴァイオリン属に属する4つの楽器（ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス）の中で最も小さく、最も高音域を出す楽器である。完全五度に調弦された弦を弓で擦って音を出す。基本的には4弦で、下からソ、レ、ラ、ミで調弦^{チューニング}される。

歴史

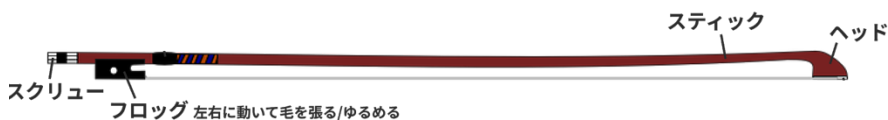
ヴァイオリンが誕生したのは16世紀初頭と考えられている。現存する最古の楽器は16世紀後半のものだが、それ以前にも北イタリアをはじめヨーロッパ各地の絵画や文献にヴァイオリンが描写されている。レオナルド・ダ・ヴィンチの手稿にもヴァイオリンに似た楽器の設計図が見られる。



17世紀から18世紀にかけてはイタリア北部でヴァイオリンの名器がたくさん作られた。特にストラトヴァリウスなどが有名で、数億円するものもある。現在でもプロの演奏家がコンサートで使用している。

↑ 10箇所の名称を覚えましょう

↓ 4箇所の名称を覚えましょう。



弓毛の凸凹に松脂^{まつぎ}を塗ること

により、細かいギザギザが無数にでき、そのギザギザの一つ一つが弦を弾き、無数の音を出し続けるという仕組みです。これを正しいボーイング、すなわち弦にかかる弓の圧力を均等にして、弓をスムーズに動かすことにより、美しい音になります。

課題 1

学習の観点
技能

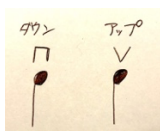
まずは上の二つの弦を使って音を出してみました。音色が均等になるようにして、上がって、下がります。弓は弦に垂直になるように構え、しっかりと動かします。



課題 2

学習の観点
技能

1の課題ができたなら音をしっかりと伸ばす練習をしました。この課題では、弓のあげさげにも注意をします。弓の半分以上を根本から先端まで使えていたら合格です。



しっかりとダウン（下げ）から始める。アップは短い音になりがちなので注意！

学習の観点
思考/判断. 表現

課題 3 「きらきら星」

前述の課題ができていたらもう「きらきら星」が弾けるはずですよ。強弱をつけて自分なりの表現を見つけて弾いてみましょう。伸ばすところをしっかりと伸ばせると良いですね。きらきらした音色で弾けますように。

